

京都府 農林水産業人材確保育成戦略

～魅力ある京都府農林水産業の実現に向けて～

農林水産業・農山漁村を支える担い手の減少・高齢化が深刻化する中、今後の育成すべき担い手像を明らかにするとともに、産学公民の多様な主体と連携し、分野を横断した効果的な人材確保・育成施策を推進することにより、農林水産業の成長産業化と農山漁村の維持・活性化を図ります。

＜ 計画期間 ＞ 令和7年度から令和11年度まで

農林水産業・農山漁村を取り巻く現状

● 農林水産業

- ・就業者数の減少、会社経営体の増加
- ・生産コストの上昇、気候変動
- ・先端技術の発展・高度化

● 農山漁村

- ・過疎化・高齢化による地域コミュニティの衰退
- ・農地・森林の管理不足による国土保全機能の低下
- ・ライフスタイルの多様化による働き方の変化

育成すべき担い手像

● 農林水産業の成長産業化を牽引する専門人材

- ・生産から消費までを見据え、様々な経営リスクに柔軟・的確に対応できる高度経営人材
- ・環境変化に対応し、最先端技術を積極的に取り入れ、生産効率を向上できる高度技術人材

● 半農半Xなど様々な形で農林水産業へ関わり、農山漁村を支える多様な人材

● 自らの特性を活かし、共に活躍する共生社会を実現できる人材

人材確保・育成施策の課題

- 「育成すべき担い手像」のニーズに応じた多様な人材育成・定着施策の推進
- 農林水産業を取り巻く環境に対応できる専門性の高い教育カリキュラムの提供
- 府研修教育機関（農業大学校、林業大学校、海の民学舎）等における定員充足率、府内就業・定着率の向上

令和7年3月 京都府農林水産部



施策の方向性

推進体制の整備

●「京都府農林水産業人材確保・育成センター」を設置

農林水産業の分野を横断し、
・誘導から相談・体験、研修、就業、経営発展まで
一貫してサポートする司令塔として
人材確保・育成のトータルマネジメントを実施

●「京都府農林水産業人材確保・育成ネットワーク」を設立

産学公民の多様な主体との連携により、
・育成すべき担い手のニーズに応じた
多様な教育メニューを効果的・効率的に提供
・人材確保・育成施策の評価・検証を実施

具体的な施策(主なもの)

分野横断の施策

- ✓誘導段階・・・SNS等による農林水産業の魅力発信や、ボランティアの募集、マッチングの実施
- ✓相談・体験段階・・・高校生などを対象とした農林水産業分野横断インターンシップの実施
- ✓実践研修段階・・・府研修教育機関の学生を対象とした経営やコミュニケーション等の合同講座の開催
- ✓就業段階・・・独立就業に向けた実践研修を行う経営体（インキュベーションファーム）への支援
- ✓経営発展段階・・・経営発展を目指す経営体を対象とした高度な経営や労務管理等の合同研修の開催

分野ごとの施策

農業（農業大学校）

林業（林業大学校）

水産業（海の民学舎）

● 魅力ある 教育環境の整備

（府試験研究機関
との一体的運営）

- ✓農業版MBA講座や
最先端知識・技術が
習得できる講座を実施
- ✓茶業や畜産業の研修制度
との一貫教育コースを創設

- ✓スマート技術の習得の場
や他県林業大学校との
合同授業などの充実
- ✓効率的な施業や
収益性の高い経営能力を
習得する講座を実施

- ✓座学、実地研修の
教育内容を充実、
若手漁業者を対象とした
特別講義を実施
- ✓海業など、経営の多角化
のための講座を実施

人材確保・育成の新たな仕組み

